

村の水産振興発展に尽力される

～第26回東通村漁協役員研修会及び第48回東通村水産功労者表彰式～

◇漁協職員 (※敬称略)

職名	氏名	在職年数
水面漁業協同組合 内水組 部長 川内 道志	相内 道志	30年



10月26日(木)、東通村水産振興推進協議会(越善靖夫会長)の主催により、第26回東通村漁協役員研修会並びに第48回東通村水産功労者表彰式が開催されました。

村内各漁協の役員等約100名が参加した研修会では、青森県水産振興課企画・普及グループ 主査 油野 晃氏、主査 大澤幸樹氏から「あおもりの肴フェア」量販店での直売の取組」と題し講演がありました。

研修終了後には、今回で48回目となる東通村水産功労者表彰式が行われ、長年漁協職員として村の水産業発展に功績のあった方(左表)に対し、越善会長から表彰状と記念品が授与されました。

表彰された相内道志さんおめでとうございます。

子どもたちの環境・エネルギー教育のために教育副教材寄贈



原子力の日

1956年10月26日に、日本が国際連合の専門機関の一つである国際原子力機関へ参加したこと、また、1963年10月26日に、茨城県東海村の日本原子力研究所の動力試験炉が、日本で初めての原子力発電に成功したことから、1964年に「10月26日」を原子力の日とすることが閣議決定し、制定されました。

10月26日(木)、東北電力(株)東通原子力発電所(金澤定男所長)から、東通小・中学校を対象とした教育副教材が寄贈されました。

同社はこれまで、3月25日の「電気記念日」や、10月26日の「原子力の日」にちなみ、図書などの環境やエネルギーに関する多くの副教材を寄贈しています。36回となった今回は、実験器具や地球儀など計34点を寄贈いただきました。

今回の実験器具などを含め、これまで寄贈いただきました副教材は、当村の次世代を担う子どもたちが環境やエネルギーについて学び、健全な心身をはぐくむために活用させていただきます。

村の安全・防犯対策のため、村へ街路灯寄贈



東北電力(株)むつ営業所(猪越千晴所長・写真上段)と(株)ユアテックむつ営業所(今彰夫所長・写真下段)から、村へ街路灯が寄贈され、11月14日(火)に村役場において寄贈式が行われました。

この街路灯の寄贈は、これまで両社が「明るい街づくりに向けた取り組みと安全・防犯に寄与したい」と、自治体に対して行ってきたものです。

式では、「地域社会の明るい街づくりのため活用してください」と、猪越所長から街路灯18基、今所長から取付工事一式の目録が、それぞれ越善靖夫村長に手渡されました。

今回寄贈された街路灯は、村内の老朽化した街路灯の建て替えや未整備箇所を設置し、村の安全・防犯の為に活用します。